



日本交流分析学会 第37回学術大会

テーマ 交流分析を超えて

会期

平成24年 7月15日(日)・16日(月・祝)

会場

独立行政法人 国立国際医療研究センター
国際医療協力研修センター

大会長

石川 俊男 (独)国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

日本交流分析学会

第37回学術大会

||||| ■■■■■ プログラム・抄録集 ■■■■■ |||||

大会テーマ

交流分析を超えて

会期 平成24年
7月15日(日)・16日(月・祝日)

会場 国立国際医療研究センター
国際医療協力研修センター

大会長 石川 俊男
国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科

ご 挨拶

日本交流分析学会第37回学術大会

大会長 石川 俊男

日本交流分析学会第37回学術大会にご参加いただき誠にありがとうございます。例年になく6月に台風が来たりと昨年来不穏な自然の振る舞いに不安を掻き立てられる日々が続いております。しかし、このような不安を吹き飛ばすべく、本学会会場での発表と議論・討論は熱のこもったものになるものと期待いたしております。

さて、今回の学術大会のテーマを「交流分析を超えて」とさせていただきました。昨今の心身医療の臨床現場は新たな潮流に曝されているように思います。一昔前までは、背景にパーソナリティ障害があるやなしや、が問題となるケースが多かったのですが、最近では、大人の発達障害、現代型うつ、非定型うつ、適応障害、双極性障害などが背景に潜んでいることが少なくないことが言われ、薬物療法が奏功しないばかりではなく、そこでは精神(心理)療法のあり方も問われているのが現状です。その様な観点から、これらの背景を持つ患者さんたちへの精神療法を行ううえで、TAをいかにその治療や病態理解に応用できるのかが、重要な、新たな課題であると考えます。その意味も込めて、学術大会のテーマとさせていただきました。

特別講演は、発達障害の精神療法をテーマに、我が国の権威でおられる国立国際医療研究センター国府台病院精神科の齊藤万比古先生にお願いしました。大人の発達障害へTAを如何に応用できるかを考えたいと思います。また、野生動物行動学の権威でいらっしゃる京都大学の幸島司郎先生には動物の行動学から見たヒトという生き物というテーマで特別講演をいただきます。虫やサル、イルカの生態からみえてくるヒトのあり様からTAにも応用できるヒントをいただけたらと思います。

一方で、2011年3月に起こった未曾有の大災害である東日本大震災、いまだに復旧や復興の目途が立っていないところも多いのですが、特に被災者のこころのケアはこれからが本番です。私自身、先日陸前高田市にある臨時的診療所で心療内科医として被災者の診療を行ってきましたが、まさしくそのとおりで震災の傷跡がこころの奥深く残っていて悩まれている方々に接してきました。そこで、シンポジウムは「悲哀・喪」をテーマとし島田涼子先生にオーガナイズしていただき、TAをとおして改めて喪について考えてみたいと思っています。

一般演題は16題になりました。基礎から臨床まで幅広い内容の演題がそろっており、ベストポスター賞の選考も気になるところです。学会講習会も例年通り行いますが、今回は初心にもどって、基礎から応用まで、という形式で川原律子、細谷紀江両先生に企画していただきました。講師陣も芦原睦先生、中村延江先生、石川浩二先生と実力のある豪華な顔ぶれとなりました。

第37回学術大会が、参加された会員の方々々に印象深い役に立つ会になるよう事務局スタッフ一同張り切って準備をしまいいりました。是非とも熱い議論を期待いたしております。

会場のご案内

会 場：国立国際医療研究センター国際医療協力研修センター 5F
東京都新宿区戸山1-21-1

交通のご案内

・新幹線「東京」駅から

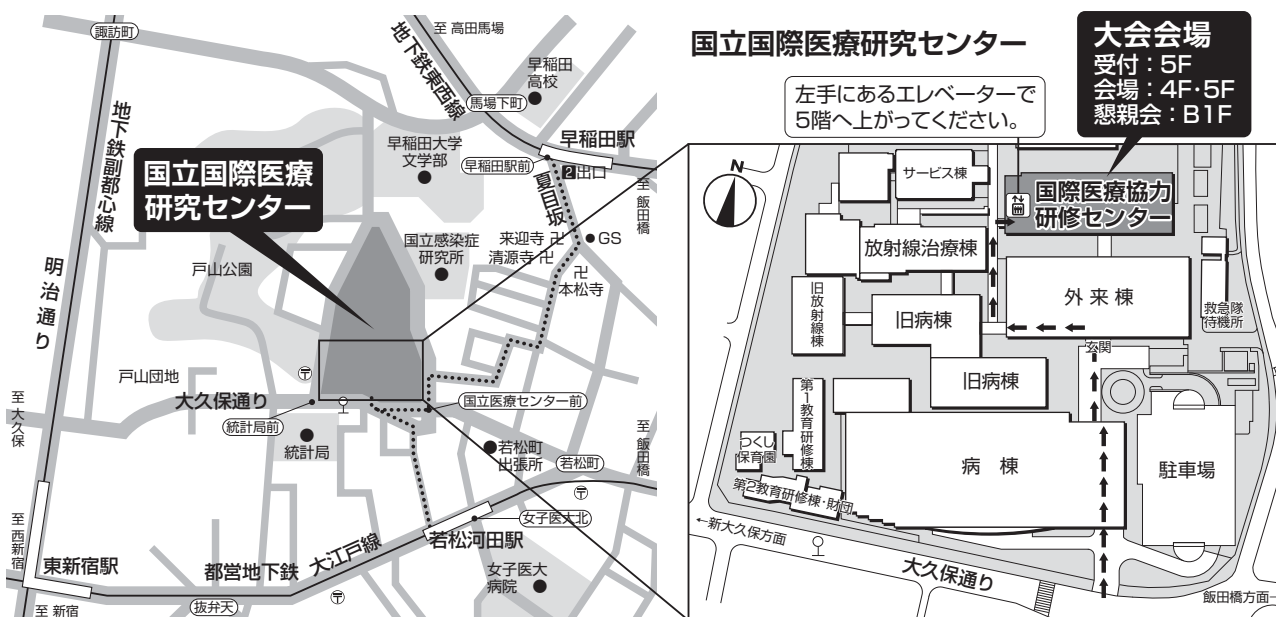
JR「東京」駅から、中央線快速(オレンジ色電車)で「御茶ノ水」駅下車し、総武線各停(黄色電車)に乗り換えて「飯田橋」駅下車、都営大江戸線「飯田橋」駅から「都庁前〔折返〕」行で「若松河田」駅下車(この間約30分)、徒歩約10分

・羽田空港から

東京モノレール「羽田空港第1ビル」「同第2ビル」駅から「浜松町」駅行で「浜松町」駅下車し、JR京浜東北線「大宮」駅行または山手線「東京・上野方面」行に乗り換えて「御徒町(おかちまち)」駅下車、都営大江戸線「上野御徒町」駅から「飯田橋」駅経由(都庁前〔折返〕行)に乗り換え、「若松河田」駅下車(この間約60分)、徒歩約10分

京浜急行(京急)「羽田空港国内線ターミナル」駅から空港線エアポート急行で都営浅草線乗り入れ「大門」駅下車し、都営大江戸線六本木経由「光が丘」行に乗り換えて「都庁前」駅下車、大江戸線飯田橋・両国方面「光が丘」行に乗り換え「若松河田」駅下車(この間約70分)、徒歩約10分

※「若松河田」駅下車後、河田口出口をご利用ください。



■受付は、国際医療協力研修センター5階です。

参加者へのご案内

学術大会 受付

- 7月15日(日)9時より、国際医療協力研修センター5階ロビーにて行います。
- 事前登録済み参加者は「事前登録受付」で手続きをお願いいたします。
- 当日参加者は「当日参加受付」にて参加費を添えてお申込みください。
- 学生の方は、学生証のご提示をお願いします。ご提示がない場合は、学生扱いとはなりませんので、ご注意ください。

講習会 受付

- 7月16日(月)8時45分より、国際医療協力研修センター5階ロビーにて行います。
- 講習会は、事前申し込みの方のみご参加いただけます。ただし、席に余裕がある場合、当日受付を行うこともあります。その場合は、会期中、受付に表示いたします。

懇親会

- 7月15日(日)18時から19時30分まで、地下1階「ビアンモール」にて行います。
- 当日参加も可能となっておりますので、ふるってご参加ください。

クローク

- クロークは5階です。貴重品のお預かりはできませんので、ご注意ください。

お食事

- お食事は各自でお願いいたします。
- 会場内・ロビーでの飲食はご遠慮ください。地下1階の飲食コーナーをご利用ください。
- 地下1階に売店・喫茶・食堂があります。一部の店舗は日曜・祝日は休業しています。

その他

- 病院内の敷地は全面禁煙になっておりますので、ご協力ください。
- お車でのご来場はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。

参加費

	事前申し込み参加費			当日申し込み参加費		
	会 員	非会員	学 生	会 員	非会員	学 生
学術大会	¥ 7,000	¥ 9,000	¥ 5,000	¥ 8,000	¥ 10,000	¥ 5,000
懇親会	¥ 3,000	¥ 3,000	¥ 3,000	¥ 4,000	¥ 4,000	¥ 4,000
講習会	¥ 8,000	¥ 10,000	¥ 5,000	当日受付不可		

- 7月2日(月)以降にご入金いただいた場合、当日参加となります。当日、受付にて差額をお支払いください。
- 一度振り込まれた参加費の払い戻しは行っておりません。あらかじめご承知おきください。

ポイント

- 本学会の出席により、以下の学会・協会から単位を認定されます。
日本心身医学会(専門医、認定医、認定医療心理士)
日本心療内科学会、日本臨床心理士資格認定協会

発表者へのご案内

- 会場は国際医療協力研修センター4階B会場(第1会議室)です。7月15日(日)9時から9時50分の間に所定の場所に貼り付けてください。ピンはこちらで準備いたします。
- ポスターの貼りつけスペースは、横90センチ×縦160センチです。
- 発表は7月15日(日)10時スタートです。A・Bグループに分かれての同時進行です。
(A・Bグループとも同じ会場で行われます)
- 発表時間7分、質疑応答3分といたします。発表開始後、6分経過時に1鈴、7分経過時に2鈴、9分経過時に1鈴、10分経過時に2鈴を鳴らします。
- ポスターの撤去は、7月15日(日)16時までをお願いいたします。16時以降ポスターが残っていた場合、大会事務局で撤去させていただきます。
- 優秀な演題を「ベストポスター賞」として表彰いたします。表彰式は7月15日(日)12時50分からの総会(5階A会場)で行いますので、ポスター発表者は必ず総会へご参加ください。ご都合が悪く出席できない方は、あらかじめ事務局までお申し出ください。

講習会のご案内

(平成24年7月16日開催)

8:45 受付開始

コーディネーター：川原 律子(日本大学医学部附属板橋病院心療内科)
細谷 紀江(学習院大学学生相談室)

9:00～12:00

会場：5階 A 会場

1 概論と自我状態、エゴグラム

石川 浩二(三菱重工産業医)

2 交流パターンとゲーム

芦原 睦(中部労災病院心療内科)

3 禁止令・幼児決断・脚本

中村 延江(桜美林大学)

12:00～13:00 昼 食

13:00～15:00 領域別グループ学習

会場：領域別(5階 A 会場、4階 B・C 会場)

〈医療〉 芦原 睦

〈教育〉 中村 延江

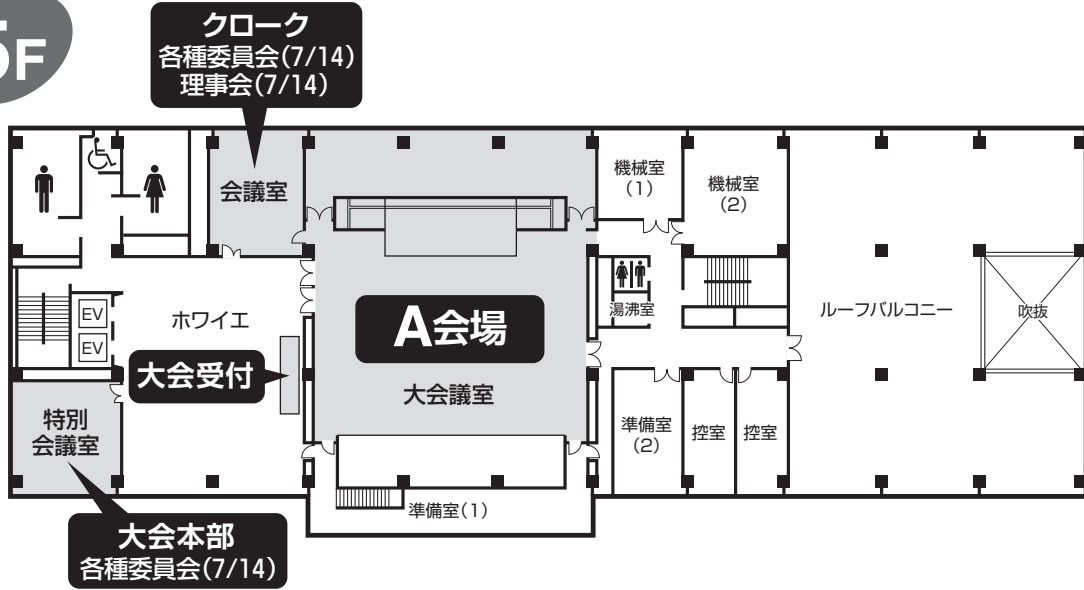
〈産業〉 石川 浩二

15:15～16:00 全体討論

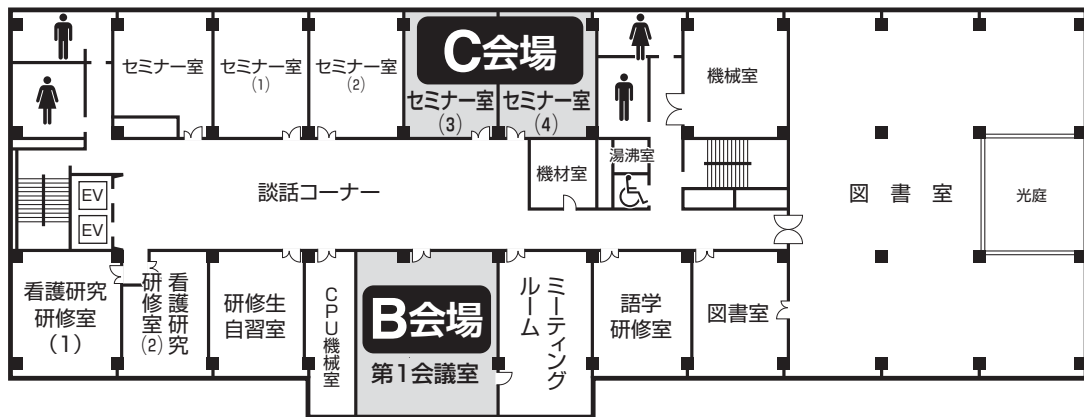
会場：5階 A 会場

会場案内

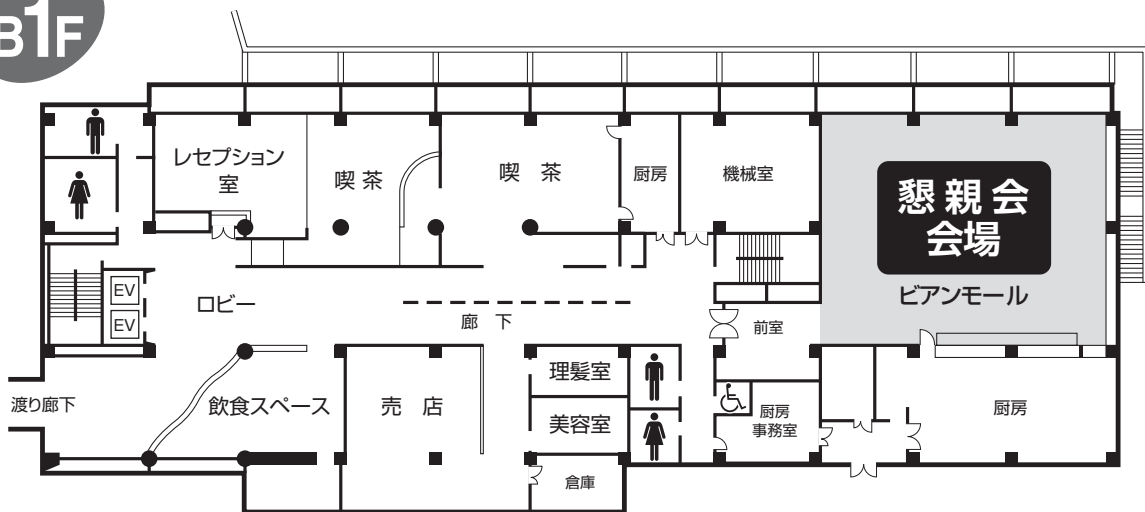
5F



4F



B1F



大会日程

学術大会

講習会

7月14日(土)

7月15日(日)

7月16日(月祝)

8:45			8:45~ 受付開始 5F ロビー
9:00		9:00~ 受付開始 5F ロビー ポスター掲示 4F B会場	9:00~12:00 5F A会場 講習会開始
		9:55~10:00 大会長挨拶 4F B会場	① 概論と自我状態、エゴグラム 講師：石川 浩二先生
10:00		10:00~11:20 ポスター発表 4F B会場	② 交流パターンとゲーム 講師：芦原 陸先生
		Aグループ 10:00~10:40 P01▶P20へ P02▶P21へ P03▶P22へ P04▶P23へ	③ 禁止令・幼児決断・脚本 講師：中村 延江先生
		Bグループ 10:00~10:40 P09▶P28へ P10▶P29へ P11▶P30へ P12▶P31へ	
11:00		10:40~11:20 P05▶P24へ P06▶P25へ P07▶P26へ P08▶P27へ	
		10:40~11:20 P13▶P32へ P14▶P33へ P15▶P34へ P16▶P35へ	
12:00		11:40~12:40 4F C会場 評議員会	12:00~13:00 昼食
13:00		12:50~13:20 5F A会場 総会	13:00~15:00 領域別グループ学習
		13:30~14:30 5F A会場 特別講演 動物行動学から見た ヒトという生きもの 幸島 司郎先生 ▶P14へ	<医療> 5F A会場 講師：芦原 陸先生
14:00		14:40~15:40 5F A会場 特別講演 発達障害者との 精神療法をめぐって 齊藤 万比古先生 ▶P15へ	<教育> 4F B会場 講師：中村 延江先生
15:00	15:00~16:00 5F 会議室 特別会議室 各種委員会	15:50~17:50 5F A会場 大会シンポジウム 悲哀・喪について考える シンポジスト：江花 昭一先生 ▶P16へ 重宗 祥子先生 ▶P17へ 金丸 隆太先生 ▶P18へ 島田 凉子先生 ▶P19へ 指定発言：杉田 峰康先生	<産業> 4F C会場 講師：石川 浩二先生
16:00	16:00~18:00 5F 会議室 理事会	18:00~19:30 地下1F ピアノモール 懇親会	15:15~16:00 5F A会場 全体討論
17:00			
18:00			
19:00			

学術大会プログラム

(平成24年7月15日開催)

9:55～10:00 **大会長挨拶** 会場：4階 B 会場

10:00～11:20 **ポスター発表** 会場：4階 B 会場

10:00～10:40 **A-1 〈基礎〉** 座長：天保 英明(医療法人社団ハートフル川崎病院精神科・心療内科)
白井 幸子(ルーテル学院大学大学院)

P01 自我状態の機能のネガティブな側面に客観的な気づきを得る手法の研究(その1)

○小林 雅美
TA 実践研究所

P02 Personal Health Record を用いた行動変容プログラムにおける減量効果と自我状態の関連

○齋藤 瞳¹⁾、木村 穰²⁾、佐藤 豪³⁾
1) 東京福祉大学心理学部、2) 関西医科大学健康科学センター、3) 同志社大学心理学部

P03 日本の TA と世界の TA —現状と展望—

○花岡 啓子¹⁾、島田 涼子²⁾、繁田 千恵³⁾
1) PSR ストレス医学研究所、吉祥寺通り花岡クリニック、2) 人間総合科学大学、
3) TA 心理研究所

P04 エゴグラムとカテコラミン —CP を中心として—

○小池 一喜¹⁾²⁾、村上 正人³⁾、松野 俊夫³⁾
1) 日本大学歯学部付属歯科病院心療歯科、2) 日本大学歯学部口腔診断学講座、
3) 日本大学板橋病院心療内科

10:40～11:20 **A-2 〈社会〉** 座長：西川 和夫(岐阜聖徳学園大学教育学部)
吉内 一浩(東京大学大学院医学系研究科)

**P05 私たちの中にある反抗する子ども
—自我機能分析6因子質問紙作成プロセス その2—**

○松本 敦¹⁾、繁田 千恵²⁾
1) 医療法人社団心癒会しのだの森ホスピタル、2) TA 心理研究所

**P06 企業人への Psychological Education に必要な TA 的スタイル①
—準拠枠と5つのP—**

○豊田 直子
株式会社ホリスティックコミュニケーション

P07 歌に“はまる”ことが自己変容を促進する過程
—関係性交流分析(RTA)の観点から—

○太田 雅美¹⁾、金丸 隆太²⁾

1) 相模原市立青少年相談センター南相談室、2) 茨城大学大学院

P08 メンタルヘルス不調者と上司の自己成長エゴグラム(SGE)の検討

○小林 志保、阿部 桂大、松田 史帆、加藤 さやか、山田 恵美子、
白井 幸治、佐藤 誠久、芦原 睦

中部労災病院 MHC 心療内科

10:00~10:40

B-1 〈臨床1〉

座長：佐々木大輔(斗南会介護老人保健施設ラ・フォーレ天童)

石津 宏(琉球大学医学部名誉教授)

P09 線維筋痛症における交流分析的検討 —関節リウマチ、慢性疼痛との比較—

○山田 恵美子、松田 史帆、佐藤 誠久、阿部 桂大、加藤 さやか、
小林 志保、白井 幸治、石川 浩二、芦原 睦

中部労災病院 MHC 心療内科

P10 双極性障害(Ⅱ型)合併線維筋痛症に対する「TAブリッジ」法の活用
—TAを超えて、しかし心身医学療法の裡に—

○飯嶋 正広^{1,2)}

1) 高円寺南診療所心療内科、2) 高円寺南労働衛生コンサルタント事務所

P11 うつ病の脚本分析

○満山 かおる

公益法人神経研究所附属晴和病院

P12 基本的構えの変化が治療展開に寄与したうつ病の一例

○天野 雄一、端詰 勝敬、佐谷 健一郎、坪井 康次

東邦大学医学部心身医学講座

10:40~11:20

B-2 〈臨床2〉

座長：鈴木 順(岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科)
松野 俊夫(日本大学医学部附属板橋病院心療内科)

P13 吸入ステロイド薬を減薬または終了できた気管支喘息患者におけるSGEの特徴について

○齋藤 紀先¹⁾、細木 敬祐¹⁾、鈴木 朋美¹⁾、荏原 真実²⁾、竹田 正秀²⁾、
荏原 順一²⁾、芦原 睦³⁾

1)市立横手病院アレルギー科・呼吸器内科、

2)秋田大学大学院感染・免疫アレルギー・病態検査学、3)中部労災病院心療内科

P14 軽症気管支喘息患者における交流分析的自我状態とSDS、STAIとの関連性

○齋藤 紀先¹⁾、細木 敬祐¹⁾、鈴木 朋美¹⁾、荏原 真実²⁾、竹田 正秀²⁾、
荏原 順一²⁾、芦原 睦³⁾

1)市立横手病院アレルギー科・呼吸器内科、

2)秋田大学大学院感染・免疫アレルギー・病態検査学、3)中部労災病院心療内科

P15 心療内科外来患者におけるエゴグラムと他の心理検査との関係性

○富田 吉敏^{1,2)}、若林 邦江¹⁾、安藤 哲也^{1,2)}、石川 俊男¹⁾

1)国立国際医療研究センター国府台病院心療内科、

2)国立精神・神経医療研究センター病院心療内科

P16 エゴグラム(TEG)による未成年摂食障害例の検討

○都田 淳、佐谷 健一郎、坊 裕美、都河 明人、端詰 勝敬、坪井 康次
東邦大学医療センター大森病院心療内科

11:40~12:40

評議員会

会場：4階 C 会場

12:50~13:20

総 会

会場：5階 A 会場

13:30~14:30

特別講演

会場：5階 A 会場

座長：芦原 睦(中部労災病院心療内科)

**動物行動学から見たヒトという生きもの
— 虫やサル、イルカとの比較から考える —**

幸島 司郎(京都大学野生動物研究センター)

14:40～15:40 **特別講演**

会場：5階 A 会場

座長：石川 俊男（国立国際医療研究センター国府台病院心療内科）

発達障害者との精神療法をめぐって —その特性にどうかかわるか—

齊藤万比古（国立国際医療研究センター国府台病院精神科）

15:50～17:50 **大会シンポジウム**

会場：5階 A 会場

座長：村上 正人（日本大学医学部附属板橋病院心療内科）

端詰 勝敬（東邦大学医学部心身医学講座）

指定発言：杉田 峰康（福岡県立大学名誉教授・日本交流分析学会理事長）

「悲哀・喪について考える」

S01 臨床医の立場からみた悲哀・喪のプロセス

江花 昭一 神奈川大学健康管理室

S02 心理臨床における喪の仕事

重宗 祥子 さちクリニック・代々木心理相談室

S03 被災地での体験から

金丸 隆太 茨城大学大学院

S04 悲嘆、悲哀・喪とラケット感情

島田 涼子 人間総合科学大学大学院

18:00～19:30 **懇親会**

会場：地下1階「ビアンモール」

大会一覧表

No	大会	開催日	大会長	準備委員長	開催地
1	第1回	1976年5月23日	池見酉次郎	桂 戴作	東京都
2	第2回	1977年6月04日・05日	池見酉次郎		福岡市
3	第3回	1978年6月10日・11日	池見酉次郎	河野 博臣	神戸市
4	第4回	1979年6月02日・03日	池見酉次郎	国谷 誠朗	東京都
5	第5回	1980年5月17日・18日	石川 中		東京都
6	第6回	1981年5月23日・24日	桂 戴作	山口 道也	東京都
7	第7回	1982年5月22日・23日	筒井 末春	西沢 道元	東京都
8	第8回	1983年5月28日・29日	川上 澄	佐々木大輔	弘前市
9	第9回	1984年6月02日・03日	杉田 峰康	松枝 延安	長崎市
10	第10回	1985年6月08日・09日	杉溪 一言	国谷 誠朗	東京都
11	第11回	1986年5月24日・25日	中川 哲也	竹野孝一郎	福岡市
12	第12回	1987年6月26日・27日	新里 里春		沖縄県
13	第13回	1988年5月07日・08日	河野 友信		東京都
14	第14回	1989年5月20日・21日	末松 弘行		東京都
15	第15回	1990年5月19日・20日	佐々木雄二		つくば市
16	第16回	1991年5月18日・19日	深沢 道子		東京都
17	第17回	1992年5月09日・10日	国谷 誠朗		川崎市
18	第18回	1993年5月22日・23日	佐々木大輔	遠山 宜哉	弘前市
19	第19回	1994年5月21日・22日	山本 晴義	江花 昭一	横浜市
20	第20回	1995年6月10日・11日	菊池 長徳	大森 啓義	東京都
21	第21回	1996年5月10日・11日	石津 宏	仲本 政雄	沖縄県
22	第22回	1997年6月14日・15日	中村 延江	松野 俊夫	東京都
23	第23回	1998年5月16日・17日	吾郷 晋浩	原 信一郎	東京都
24	第24回	1999年5月15日・16日	久村 正也	濱田 康	札幌市
25	第25回	2000年5月13日・14日	水野 正憲	松岡 洋一	岡山市
26	第26回	2001年5月26日・27日	白井 幸子	国谷 誠朗	東京都
27	第27回	2002年5月25日・26日	西川 和夫		津市
28	第28回	2003年6月05日・06日	久保木富房		東京都
29	第29回	2004年5月14日・15日	久保 千春		福岡県
30	第30回	2005年6月16日・17日	坪井 康次		東京都
31	第31回	2006年8月30日	村上 正人		東京都
32	第32回	2007年6月09日・10日	松岡 洋一		岡山市
33	第33回	2008年5月17日・18日	齋藤 恵子		盛岡市
34	第34回	2009年10月03日・04日	江花 昭一		横浜市
35	第35回	2010年6月12日・13日	芦原 睦		名古屋市
36	第36回	2011年9月18日・19日	小池 一喜		東京都
37	第37回	2012年7月15日・16日	石川 俊男		東京都

ご協賛一覧

エーザイ株式会社

MSD 株式会社

武田薬品工業株式会社

株式会社ツムラ

日本イーライリリー株式会社

ファイザー株式会社

株式会社マイライフ社

Meiji Seika ファルマ株式会社

持田製薬株式会社

(五十音順・敬称略)

本大会を開催するにあたり、上記のご協賛をいただきました。
皆様のご厚意に深謝申し上げます。

日本交流分析学会第37回学術大会

大会長 石川 俊男

日本交流分析学会 第37回学術大会
準備委員会

大会長 石川 俊男

事務局長 若林 邦江

プログラム委員 芦原 睦 島田 涼子
川原 律子 細谷 紀江

実行委員 苅部 正巳 田村 奈穂
星 明孝 本間 洋洲
知場奈津子 米本 睦美

日本交流分析学会 第37回学術大会
プログラム・抄録集

大会長：石川 俊男

発行日：2012年7月11日

事務局：国立国際医療研究センター国府台病院心療内科
〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
E-mail：jsta2012@gmail.com

出版： 株式会社セカンド
学会サポート <http://www.secand.com/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

日本交流分析学会第37回学術大会事務局

(独) 国立国際医療研究センター 国府台病院 心療内科